



2019年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年5月13日

上場会社名 マルシェ株式会社
 コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 藤原 徹二
 定時株主総会開催予定日 2019年6月22日 配当支払開始予定日 2019年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6624-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	8,587	0.5	72	17.6	115	7.9	52	
2018年3月期	8,540	3.1	87	25.7	125	20.7	37	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	6.51		1.8	2.2	0.8
2018年3月期	4.64		1.2	2.5	1.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,148	2,911	56.6	362.71
2018年3月期	5,150	2,941	57.1	366.42

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,911百万円 2018年3月期 2,941百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	372	408	80	2,269
2018年3月期	469	290	80	2,385

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		5.00		5.00	10.00	80		2.7
2019年3月期		5.00		5.00	10.00	80	153.7	2.8
2020年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00			

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	5.6	19		1		39		4.86
通期	9,300	8.3	150	108.3	180	55.7	83	58.9	10.34

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	8,550,400 株	2018年3月期	8,550,400 株
期末自己株式数	2019年3月期	521,998 株	2018年3月期	521,918 株
期中平均株式数	2019年3月期	8,028,476 株	2018年3月期	8,028,660 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	7
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 財務諸表及び主な注記	8
(1) 貸借対照表	8
(2) 損益計算書	10
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外の政治・経済情勢の不確実性などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食産業におきましては、原材料価格の高騰や人手不足を背景とした人件費の上昇に加えて、地震や台風などの自然災害の影響も重なり厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社は「中期経営計画（3ヶ年計画）」の3年目として、「既存店立て直しを目的とした改善・改革」、「人材育成の強化」、「新業態の確率による事業規模の拡大」等を今期の重要課題として取り組んでまいりました。

「既存店立て直しを目的とした改善・改革」として、熟成とりかわのたれ焼「たれ皮」が名物の「炭火焼鳥ハッケン酒場」7店舗、「焼鳥屋さんの親子丼」等のお食事メニューを充実させた「八剣食堂」4店舗の新規出店及び業態変更を行い、お客様のご要望にお応えできるよう努めてまいりました。「人材育成の強化」として、毎月1回リーダー勉強会を実施し次期幹部候補生の育成とミステリーショッピングリサーチを活用した店長研修を昨年に引き続き実施、店舗営業力の向上に努めてまいりました。「新業態の確立による事業規模の拡大」として、焼そばに特化しお食事とお酒が共存する新しいタイプのお店「焼そばセンター」6店舗、国産の具材にこだわり毎日店内仕込みの「餃子」をリーズナブルな価格で提供のお店「餃子食堂マルケン」2店舗の新規出店及び業態変更を行い、店舗網の拡大拡充に努めました。

この様な取組みを行った結果、当事業年度における経営成績は、売上高は85億87百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は72百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益は1億15百万円（前年同期比7.9%減）、当期純利益は52百万円（前年同期は当期純損失37百万円）となりました。

【当事業年度の概況】

	前事業年度 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日	当事業年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	8,540	8,587	46	0.5
営業利益 (百万円)	87	72	△15	△17.6
経常利益 (百万円)	125	115	△9	△7.9
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	△37	52	89	-
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△4円64銭	6円51銭	11円15銭	-

【売上高の状況】

(単位：千円)

	前事業年度 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日		当事業年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		増 減	
		構成比		構成比		増減率
《料飲部門》		%		%		%
酔 虎 伝	1,012,554	11.9	1,120,857	13.1	108,302	10.7
八 剣 伝	2,486,539	29.1	2,482,990	28.9	△3,548	△0.1
居 心 伝	1,219,494	14.3	1,212,627	14.1	△6,867	△0.6
そ の 他	875,957	10.3	998,290	11.6	122,333	14.0
海 心 丸	138,383	1.6	72,693	0.8	△65,689	△47.5
楽 待 庵	165,474	1.9	153,344	1.8	△12,130	△7.3
八 右 衛 門	125,109	1.5	133,865	1.6	8,756	7.0
串 ま ん	50,449	0.6	41,387	0.5	△9,061	△18.0
バ ル ビ ダ	169,777	2.0	104,433	1.2	△65,343	△38.5
G O T T O	123,178	1.4	140,134	1.6	16,956	13.8
そ の 他	103,584	1.2	352,430	4.1	248,846	240.2
料飲売上高	5,594,545	65.5	5,814,765	67.7	220,219	3.9
《F C部門》						
ロイヤリティ等売上計	601,001	7.0	565,395	6.6	△35,605	△5.9
《商品部門》						
食 材 等 販 売	1,720,062	20.1	1,627,789	19.0	△92,272	△5.4
酒 類 等 販 売	421,408	4.9	381,433	4.4	△39,975	△9.5
食材、酒類等販売売上高	2,141,470	25.1	2,009,222	23.4	△132,248	△6.2
その他部門売上高	203,769	2.4	197,733	2.3	△6,035	△3.0
合 計	8,540,787	100.0	8,587,117	100.0	46,330	0.5

① 料飲部門の販売の状況

料飲部門全体の売上高は、新規出店等により58億14百万円、前年同期比3.9%の増となりました。直営店における全店及び既存店の売上高、客数及び客単価の前年同期比は、以下のとおりとなります。

	全店			既存店		
	売上高	客数	客単価	売上高	客数	客単価
酔 虎 伝	110.7%	108.3%	102.2%	97.6%	96.0%	101.7%
八 剣 伝	99.9%	98.3%	101.5%	98.2%	96.5%	101.8%
居 心 伝	99.4%	98.5%	100.9%	100.6%	99.8%	100.8%
そ の 他	114.0%	122.0%	93.4%	96.4%	96.6%	99.7%
合 計	103.9%	103.8%	100.1%	98.4%	97.2%	101.2%

(注) 既存店とは、オープン月を含め13ヶ月以上営業している店舗であります。

② F C部門の販売の状況

F C部門の売上は、F C加盟店からのロイヤリティ収入と販促物その他の販売等で、売上高は5億65百万円、前年同期比5.9%の減となりました。

その主な内訳は、ロイヤリティ収入が4億90百万円で前年同期比5.5%の減、加盟料収入は23百万円で前年同期比7.6%の増、販促物その他売上高が50百万円で前年同期比14.5%の減でありました。

③ 商品部門の販売の状況

商品部門の売上は、F C加盟店及びサプライヤーに対する食材、酒類等の販売であり、売上高は20億9百万円で前年同期比6.2%の減となりました。

その主な内訳は、食材等の販売は16億27百万円で前年同期比5.4%の減、酒類等の販売は3億81百万円で前年同期比9.5%の減でありました。

④ その他部門の販売の状況

その他部門売上高は1億97百万円で前年同期比3.0%の減となりました。

【業態別出退店の状況】

直営店及びF C加盟店を合わせた当社グループ全店の店舗数は447店で、前期末店舗数比較で16店減少となりました。期間中の新規出店は23店、退店は39店でありました。

		前事業年度					当事業年度				
		自 2017年4月1日					自 2018年4月1日				
		至 2018年3月31日					至 2019年3月31日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直営店	酔虎伝	13	4	1	16	3	16	2	1	17	1
	八剣伝	64	4	2	66	2	66	7	5	68	2
	居心伝	28	2	2	28	-	28	-	1	27	△1
	海心丸	3	-	-	3	-	3	-	2	1	△2
	串まん	2	-	-	2	-	2	-	1	1	△1
	八右衛門	3	1	-	4	1	4	-	-	4	-
	バルビダ	9	-	5	4	△5	4	-	3	1	△3
	その他	5	4	2	7	2	7	9	-	16	9
小計	127	15	12	130	3	130	18	13	135	5	
F C 加盟店	酔虎伝	22	1	3	20	△2	20	-	1	19	△1
	八剣伝	298	4	23	279	△19	279	4	19	264	△15
	居心伝	21	-	4	17	△4	17	-	4	13	△4
	その他	18	3	4	17	△1	17	1	2	16	△1
小計	359	8	34	333	△26	333	5	26	312	△21	
合計	486	23	46	463	△23	463	23	39	447	△16	

【直営料飲店の出店及び退店の状況】

直営店の出店は新規出店が10店、F C加盟店からの譲受が3店、他業態からの業態変更が5店で計18店でありました。退店は完全退店が5店、F C加盟店への譲渡が1店舗、他業態への業態変更が7店で計13店でありました。

	出店					退店				
	新規出店	F C加盟店 からの譲受	業態変更	計		完全退店	F C加盟店 への譲渡	社員独立	業態変更	計
酔虎伝	-	1	1	2	酔虎伝	-	-	-	1	1
八剣伝	5	2	-	7	八剣伝	3	1	-	1	5
居心伝	-	-	-	-	居心伝	1	-	-	-	1
その他	5	-	4	9	その他	1	-	-	5	6
計	10	3	5	18	計	5	1	-	7	13

【F C加盟店の出店及び退店の状況】

F C加盟店の出店は新規出店が4店、直営店からの譲受が1店で計5店でありました。退店は完全退店が21店、直営店への譲渡が5店で計26店でありました。

	出店						退店			
	新規出店	直営店から の譲受	社員独立	業態変更	計		完全退店	直営店への 譲渡	業態変更	計
酔虎伝	-	-	-	-	-	酔虎伝	-	1	-	1
八剣伝	3	1	-	-	4	八剣伝	17	2	-	19
居心伝	-	-	-	-	-	居心伝	2	2	-	4
その他	1	-	-	-	1	その他	2	-	-	2
計	4	1	-	-	5	計	21	5	-	26

(2) 当期の財政状態の概況
資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2018年3月期末	当事業年度	増減
資産の部	5,150	5,148	△2
負債の部	2,208	2,236	27
純資産の部	2,941	2,911	△29

当事業年度末における資産は、有形固定資産の取得による支出や配当金の支払いによる現金及び預金が1億51百万円の減少、新規出店による有形固定資産2億17百万円の増加、FC加盟店の店舗数減少に伴う売掛金79百万円の減少等により、前事業年度末に比べ2百万円減少し、51億48百万円となりました。負債総額は、新規出店による有形固定資産の購入等に伴う未払金が25百万円増加したことから、前事業年度末に比べ27百万円増加し、22億36百万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払い等により利益剰余金が28百万円減少したことから、前事業年度末に比べ29百万円減少し、29億11百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況
キャッシュ・フローの状況に関する分析

(単位：百万円)

項目	前事業年度	当事業年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	469	372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290	△408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80	△80
現金及び現金同等物の増減額	98	△116
現金及び現金同等物の期末残高	2,385	2,269

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローが3億72百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが4億8百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが80百万円の支出となったことにより、前事業年度末と比べて1億16百万円減少し、22億69百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は3億72百万円であります。これは主に税引前当期純利益1億円に加え、非資金項目の減価償却費1億87百万円、減損損失31百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は4億8百万円であります。これは主に有形固定資産の取得による支出4億16百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は80百万円であります。これは主に配当金の支払額80百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
自己資本比率 (%)	61.7	59.2	61.6	57.1	56.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	120.4	125.6	131.4	125.2	121.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	-	-	-	-	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	-	-	-	-	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今期の見通しにつきましては、原材料価格の高騰に加え、物流費や人件費などのコストの上昇が見込まれ、また消費者の根強い低価格志向など生活防衛意識に大きな変化は期待できず、外食産業を取り巻く環境は、より一層厳しいものになると想定されます。また、消費増税・軽減税率導入なども予定されることから不透明感が拭えない状況といえます。

このような環境の中ではありますが、当社は「真心第一でお客様にご来店いただく」を年度スローガンに制定し、全社レベルでの真心活動の実践を浸透させる事で当社の想いを伝えてまいります。今後の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る施策として、「既存店の向上」では「ハッケン酒場」を中心とした業態変更を推進していくと共に、前期より取り組んでおります調理レベルの向上を図るマイスター制度の運用を強化してまいります。「新規出店」では「焼そばセンター」「餃子食堂マルケン」を第4の柱となる業態へ育成すべく出店してまいります。「FC事業強化」では、新規出店及び既存FC加盟店においても直営店同様に業態変更を促進いたします。

これらにより、次期の業績及び新規出店計画は、以下を見込んでおります。

売上高	9,300百万円	(前期比 8.3%増)
営業利益	150百万円	(前期比108.3%増)
経常利益	180百万円	(前期比 55.7%増)
当期純利益	83百万円	(前期比 58.9%増)
新規出店計画	21店舗	(内訳：直営店16店舗、FC加盟店5店舗)

注 上記の業績見込は、作成時点における経営環境を前提に作成しており、実際の業績は様々な予期せぬ不確実的要因により、これら業績見込とは異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識し、収益に応じて積極的に還元していきたいと考えております。

利益配分に関しましては、将来の事業展開や経営体質の強化のための資金を確保しつつ、配当金に関しては、基準配当金額を設定するとともに、一定の経営成績が得られた場合には配当性向等を勘案して利益還元を行うことを基本方針といたします。

- ◇ 基準配当金額は年間 10円
- ◇ 一定の経営成績が得られた場合の目標配当性向 30%以上

また内部留保資金につきましては、新規出店や店舗改装などの設備投資等に重点配分し企業価値の増大を図ることに より、長期的な安定化経営と株主への利益還元の増加につなげていきたいと考えております。

なお、当社は、取締役会の決議により毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めてお ります。また、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行う方針です。

当期末の配当金は一株当たり5円とし、既に実施済の中間配当金5円と合わせて年間配当金10円を予定してありま す。

また、次期の年間配当金につきましては、ただ今のところ、当期と同額（年間配当金10円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針 であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であり ます。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,420,366	2,269,093
売掛金	503,106	423,123
商品及び製品	16,107	13,628
原材料及び貯蔵品	36,998	36,925
前払費用	73,654	75,021
その他	78,346	66,228
貸倒引当金	△340	△20
流動資産合計	3,128,238	2,884,000
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	767,803	944,564
構築物（純額）	23,931	22,610
工具、器具及び備品（純額）	69,601	84,380
土地	198,805	198,805
建設仮勘定	296	27,596
有形固定資産合計	1,060,437	1,277,956
無形固定資産		
投資その他の資産	81,604	87,986
投資その他の資産		
投資有価証券	14,667	12,295
出資金	41	41
長期貸付金	25,785	21,178
破産更生債権等	7,741	9,094
長期前払費用	6,254	12,079
差入保証金	827,662	851,711
その他	20,233	16,829
貸倒引当金	△22,122	△24,683
投資その他の資産合計	880,263	898,546
固定資産合計	2,022,305	2,264,490
資産合計	5,150,544	5,148,491

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	792,376	770,113
未払金	422,830	447,954
未払費用	9,908	10,217
未払法人税等	52,677	68,185
前受金	4,462	4,708
預り金	66,785	66,430
前受収益	37,587	42,066
賞与引当金	70,260	69,007
株主優待引当金	31,566	30,059
資産除去債務	1,370	1,387
その他	51,472	54,228
流動負債合計	1,541,298	1,564,360
固定負債		
繰延税金負債	14,649	17,417
資産除去債務	177,395	195,164
長期預り保証金	386,508	368,640
その他	88,925	90,908
固定負債合計	667,479	672,130
負債合計	2,208,777	2,236,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金		
資本準備金	816,726	816,726
その他資本剰余金	802,663	802,663
資本剰余金合計	1,619,390	1,619,390
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	259,968	231,910
利益剰余金合計	259,968	231,910
自己株式	△453,255	△453,319
株主資本合計	2,936,632	2,908,511
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,134	3,488
評価・換算差額等合計	5,134	3,488
純資産合計	2,941,767	2,911,999
負債純資産合計	5,150,544	5,148,491

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,540,787	8,587,117
売上原価	3,546,403	3,423,031
売上総利益	4,994,384	5,164,085
販売費及び一般管理費	4,906,982	5,092,074
営業利益	87,401	72,011
営業外収益		
受取利息	1,738	1,500
受取配当金	394	464
受取家賃	19,433	18,766
解約返戻金	2,947	8,555
その他	14,867	18,232
営業外収益合計	39,381	47,520
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	-	3,236
支払手数料	403	-
その他	887	700
営業外費用合計	1,290	3,936
経常利益	125,492	115,594
特別利益		
固定資産売却益	836	407
受取補償金	-	35,545
特別利益合計	836	35,952
特別損失		
固定資産除却損	1,361	2,394
固定資産売却損	14,205	15,689
減損損失	90,829	31,358
賃貸借契約解約損	16,500	1,440
特別損失合計	122,895	50,881
税引前当期純利益	3,433	100,665
法人税、住民税及び事業税	34,796	44,944
法人税等調整額	5,872	3,493
法人税等合計	40,668	48,438
当期純利益又は当期純損失(△)	△37,235	52,227

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	377,490	377,490
当期変動額						
剰余金の配当					△80,287	△80,287
当期純利益又は当期 純損失(△)					△37,235	△37,235
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	△117,522	△117,522
当期末残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	259,968	259,968

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△453,025	3,054,385	4,029	4,029	3,058,415
当期変動額					
剰余金の配当		△80,287			△80,287
当期純利益又は当期 純損失(△)		△37,235			△37,235
自己株式の取得	△230	△230			△230
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			1,105	1,105	1,105
当期変動額合計	△230	△117,753	1,105	1,105	△116,648
当期末残高	△453,255	2,936,632	5,134	5,134	2,941,767

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	259,968	259,968
当期変動額						
剰余金の配当					△80,284	△80,284
当期純利益又は当期 純損失(△)					52,227	52,227
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	△28,057	△28,057
当期末残高	1,510,530	816,726	802,663	1,619,390	231,910	231,910

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△453,255	2,936,632	5,134	5,134	2,941,767
当期変動額					
剰余金の配当		△80,284			△80,284
当期純利益又は当期 純損失(△)		52,227			52,227
自己株式の取得	△63	△63			△63
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			△1,646	△1,646	△1,646
当期変動額合計	△63	△28,120	△1,646	△1,646	△29,767
当期末残高	△453,319	2,908,511	3,488	3,488	2,911,999

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	3,433	100,665
減価償却費	158,536	187,283
賞与引当金の増減額 (△は減少)	560	△1,252
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,169	2,241
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△244	△1,507
受取利息及び受取配当金	△2,132	△1,964
固定資産売却損益 (△は益)	13,368	15,282
受取補償金	-	△35,545
減損損失	90,829	31,358
固定資産除却損	1,361	2,394
売上債権の増減額 (△は増加)	△79,797	79,982
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,093	2,552
仕入債務の増減額 (△は減少)	222,162	△22,262
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,392	8,224
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	67,542	17,730
その他	3,093	△5,585
小計	482,029	379,594
利息及び配当金の受取額	1,900	1,730
補償金の受取額	-	26,545
法人税等の支払額	△14,827	△35,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,102	372,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,000	-
定期預金の払戻による収入	70,000	35,000
投資有価証券の取得による支出	△2,297	-
差入保証金の差入による支出	△26,352	△26,319
差入保証金の回収による収入	33,972	10,106
有形固定資産の取得による支出	△327,419	△416,465
有形固定資産の売却による収入	42,145	9,999
有形固定資産の除却による支出	△366	△800
その他	△9,701	△20,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,020	△408,640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△80,509	△80,324
自己株式の取得による支出	△230	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,740	△80,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,341	△116,272
現金及び現金同等物の期首残高	2,287,024	2,385,366
現金及び現金同等物の期末残高	2,385,366	2,269,093

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額 366円42銭 1株当たり当期純損失金額 △4円64銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり純資産額 362円71銭 1株当たり当期純利益金額 6円51銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益金額又は当期純損失金額(△)(千円)	△37,235	52,227
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額又は 当期純損失金額(△)(千円)	△37,235	52,227
期中平均株式数(千株)	8,028	8,028

(重要な後発事象)

該当事項はありません。